

1.	④	11.	③	21.	①	31.	④	41.	④
2.	③	12.	②	22.	②	32.	③	42.	③
3.	④	13.	③	23.	②	33.	③	43.	④
4.	④	14.	②	24.	④	34.	②	44.	①
5.	③	15.	②	25.	②	35.	④	45.	①
6.	②	16.	①	26.	①	36.	④	46.	②
7.	①	17.	②	27.	①	37.	③	47.	④
8.	①	18.	④	28.	①	38.	④	48.	④
9.	④	19.	③	29.	③	39.	②	49.	②
10.	④	20.	①	30.	②	40.	④	50.	①

1.

解答 ④

【解説】

正解は④の`come from ～`で、「～の出身である、～に由来する」という意味です。人や物の出所や起源を示します。`She comes from a small town in the countryside.`（彼女は田舎の小さな町の出身だ）。`The word "sushi" comes from Japan.`（「寿司」という言葉は日本に由来する）。他の選択肢は、①`go from ～`が「～から行く」、②`get from ～`が「～から得る」、③`turn from ～`が「～から向きを変える」という意味です。

◆補足：`come from ～`は`be from ～`とほぼ同じ意味で使えます。`Where are you from?` = `Where do you come from?`

2.

解答 ③

【解説】

正解は③の`network`で、「（網の目のような）組織網、ネットワーク」を意味します。`net`（網）と`work`（働き）が組み合わさった単語で、コンピュータ、人々、交通機関などが相互に接続された体系を指します。`Building a strong social network is important for your career.`（強力な人脈を築くことは、あなたのキャリアにとって重要だ）。他の選択肢は、①`net`が「網」、②`work`が「仕事」、④`teamwork`が「チームワーク」という意味です。

◆補足：`a computer network`（コンピュータネットワーク）、`a transportation network`（交通網）、`a social network`（人々のつながり）。動詞としても「ネットワークを築く」という意味で使われます。

3.

解答 ④

【解説】

正解は④の`quite`で、「かなり、まあまあ」または「完全に、まったく」という意味を持つ副詞です。形容詞や副詞を修飾して、その程度を強調します。`The view was quite beautiful.`（その眺めはかなり美しかった）。`I'm not quite sure what you mean.`（あなたの言う意味が完全には分かりません）。他の選択肢は、①`quiet`が形容詞で「静かな」、②`quit`が動詞で「やめる」、③`quote`が動詞で「～を引用する」という意味です。これらは非常によく似ていて間違いやすいので、注意しましょう。

◆補足：`quite`は、イギリス英語では「まあまあ、そこそこ」、アメリカ英語では「とても、かなり」という強い意味で使われる傾向があり、ニュアンスが異なります。`quite a few`（かなり多くの）という熟語も重要です。

4.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を狩る、探し回る」です。動詞の`hunt`は、動物を「狩る、狩りをする」ことや、失くしたものを「～を探し回る」ことを意味します。`In the past, people hunted animals for food.`（昔、人々は食料のために動物を狩った）。`I'm hunting for a good place to have lunch.`（私は昼食をとるのに良い場所を探し回っている）。①「～を傷つける」は`hurt`、②「ヒント」は名詞の`hint`、③「～に出没する」は`haunt`です。

◆補足：`go hunting`で「狩りに行く」となります。`treasure hunt`は「宝探し」です。`look for`も「～を探す」ですが、`hunt for`の方がより一生懸命に、広範囲を探し回るニュアンスがあります。

5.

解答 ③

【解説】

正解は③「材料、原料、資料」です。`material`は、物を作るための「材料、原料」や、何かをするための「資料、データ」を意味する名詞です。`What's the best material for a winter coat?`（冬のコートにはどんな素材が一番良いですか？）。①「結婚の」は`marital`、②「重要な」は`important`や`material`の形容詞形ですが意味が異なります、④「相互の」は`mutual`です。

◆補足：前の問題の`raw material`（原材料）のように、複合語でよく使われます。`building materials`（建築資材）、`teaching materials`（教材）。形容詞としては「物質的な」という意味があり、`spiritual`（精神的な）の対義語です。

6.

解答 ②

【解説】

正解は②「原材料」です。`raw material`は、製品を作るための元となる「原料、素材」を意味します。`raw`（生の、加工されていない）と`material`（材料、原料）が組み合わさった言葉です。`Wood is a raw material used for making paper.`（木は紙を作るために使われる原材料だ）。①「生の魚」は`raw fish`、③「法規制」は`regulation`、④「大まかな方法」は`rough method`などが適切な表現です。

◆補足：通常、`raw materials`と複数形で使われることが多いです。`The country is rich in natural resources and raw materials.`（その国は天然資源と原材料が豊かだ）。

7.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を切望している」です。`be eager for`～`は、「～をしきりに求めている、熱望している」という意味の熟語で、何かを非常に強く望んでいる、熱意のある状態を表します。`The students are eager for the holidays.`（生徒たちは休暇を切望している）。②「～に責任がある」は`be responsible for`～`、③「～に適している」は`be suitable for`～`、④「～の準備ができている」は`be ready for`～`がそれぞれ適切な表現です。

◆補足：`be eager to do`の形で「しきりに～したがっている」と、後ろに動詞の原形を続けることもできます。`eager`は「熱心な」という意味の形容詞で、`be anxious for`～`（～を心配している、切望している）と似ていますが、`eager`は純粋な期待感や熱意を表します。

8.

解答 ①

【解説】

正解は①の`soil`で、植物が育つ表面の「土、土壌」を意味します。`Good soil is essential for growing healthy vegetables.`（健康な野菜を育てるには、良い土壌が不可欠だ）。他の選択肢は、②`oil`が「油、石油」、③`soul`が「魂、精神」、④`solid`が形容詞で「固体の」または名詞で「固体」という意味で、発音が似ていますが意味は異なります。

◆補足：`ground`も「地面」を意味しますが、`soil`はより農業や園芸の文脈で、植物の生育に必要な栄養分などを含む「土壌」というニュアンスで使われることが多いです。コロケーションとしては、`soil erosion`（土壌浸食）や`soil pollution`（土壌汚染）などがあります。

9.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を救う、～を節約する、～を保存する」です。`save`は多くの意味を持つ動詞です。①「(命など)を救う」、②「(お金・時間など)を節約する」、③「(データなど)を保存する」の三つが中心です。`The lifeguard saved the drowning child.`(そのライフガードは溺れている子供を救った)。`I save 10% of my salary every month.`(私は毎月、給料の10%を貯金している)。①は`send`、②は`serve`、③は`solve`です。

◆補足：名詞形は`savior` (救世主) や`savings` (貯金) など、意味によって異なります。形容詞の`safe` (安全な)、名詞の`safety` (安全) と関連しています。`save a file` (ファイルを保存する)。

10.

解答 ④

【解説】

正解は④の`electric`で、「電気の、電動の」という意味の形容詞です。電気を動力源として動く機械や器具を表します。`My father bought an electric shaver.`(私の父は電気シェーバーを買った)。他の選択肢は、①`electronic`が「電子の」で、コンピュータのような電子回路を含むより複雑な機器に使います。②`elect`は動詞で「～を選挙で選ぶ」、③`elegant`は「優雅な」という意味です。

◆補足：`electric`と`electronic`の使い分けが重要です。単純に電気で熱や動力を得るものは`electric` (例: `an electric heater` 電気ヒーター)、半導体などの電子部品で情報を処理する複雑なものは`electronic` (例: `an electronic dictionary` 電子辞書) と覚えると良いでしょう。

11.

解答 ③

【解説】

正解は③「退職する、引退する」です。動詞の`retire`は、年齢などの理由で、主な仕事や職業から身を引くことを表します。`He retired at the age of 65.`(彼は65歳で退職した)。①「～を要求する」は`require`、②「～を繰り返す」は`repeat`、④「～を安心させる」は`relieve`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`retire from ~`で「～を退職する」となります。名詞形は`retirement` (退職、引退) です。`He is enjoying his retirement.`(彼は引退生活を楽しんでいる)。`a retired teacher` (退職した先生)。

12.

解答 ②

【解説】

正解は②の`factory`で、製品が機械を使って大規模に生産される「工場」を意味します。`This factory produces over 1,000 cars a day.`（この工場は1日に1000台以上の車を生産している）。他の選択肢は、①`faculty`が「(大学の)学部」や「能力」、③`facility`が「施設、設備」、④`factor`が「要因、要素」という意味です。

◆補足：`a factory worker`（工場労働者）、`a factory tour`（工場見学）。「製造業」は`manufacturing industry`と言います。

13.

解答 ③

【解説】

正解は③の`to be honest with you`で、「率直に言うと、正直なところ」という意味です。相手が聞きたくないかもしれないことも含めて、自分の本心を打ち明ける際に前置きとして使われる表現です。`To be honest with you, I don't think your plan will work.`（正直に言うと、あなたの計画はうまくいかないと思う）。他の選択肢は、①は「それについて確かであるために」、②は「それが得意であるために」、④は「それに慣れるために」などとなり、文脈に合いません。

◆補足：`to be honest`や、単に`honestly`（正直に言って）だけでも同じように使えます。`Frankly speaking`も同様の意味を持つ表現で、よりフォーマルな響きがあります。

14.

解答 ②

【解説】

正解は②の`different`で、「異なる、違う」という意味の形容詞です。二つ以上の物事が同じではないことを示します。`be different from ~`の形で「~と異なる」と表現するのが一般的です。`People in different countries have different customs.`（異なる国の人々は、異なる習慣を持っている）。他の選択肢は、①`difficult`が「難しい」、③`indifferent`が「無関心な」、④`deficient`が「不足した、欠陥のある」という意味です。

◆補足：名詞形は`difference`（違い）、動詞形は`differ`（異なる）です。副詞形は`differently`（異なっ）てです。`a different approach`（異なるアプローチ）。

15.

解答 ②

【解説】

正解は②の`float`で、「(水面・空中などに) 浮かぶ、浮く」という意味の動詞です。比重が液体や気体より軽いために、沈まずに表面や空中にとどまることを表します。`A leaf was floating on the surface of the pond.` (池の水面に葉が一枚浮かんでいた)。他の選択肢は、①`flow`が「流れる」、③`flat`が形容詞で「平らな」、④`flood`が「洪水」という意味です。

◆補足：対義語は`sink` (沈む) です。`float`は「～を浮かべる」という他動詞としても使えます。`The children were floating paper boats on the river.` (子供たちは川に紙の船を浮かべていた)。

16.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を予期する、期待する」です。動詞の`expect`は、何かが起こるだろうと「予期する、予想する」ことや、人や物事がどうあってほしいか「期待する」ことを表します。`The weather is expected to be sunny tomorrow.` (明日は晴れると予想されている)。`I expect you to be on time.` (君が時間通りに来ることを期待しているよ)。②「～を受け入れる」は`accept`、③「～を除いて」は前置詞の`except`、④「～を説明する」は`explain`です。

◆補足：名詞形は`expectation` (期待、予想) です。`meet one's expectations` (～の期待に応える)。`be expected to do`の形で「～するはずだ、～すると期待されている」という受け身の形でよく使われます。

17.

解答 ②

【解説】

正解は②「そもそも、まず第一に」です。`in the first place`は、議論の根本的な理由や原因を述べる時や、話を始めるときの最初のポイントを示すときに使います。しばしば、なぜそんなことになったのか、と非難めいた気持ちで使われることもあります。`You should have told me that in the first place.` (そもそも、君は最初にそれを私に言うべきだったんだ)。①「一等賞で」は`in first place`、③「最初の場所に」は`at the first place`、④「一目で」は`at first sight`が適切な表現です。

◆補足：`in the first place`は、前の問題の`to begin with`や`first of all`とほぼ同じ意味で使うことができます。

18.

解答 ④

【解説】

正解は④の`imagination`で、「想像力、想像」を意味します。心の中にイメージを思い浮かべる能力や、そのイメージそのものを指します。`A good writer needs a vivid imagination.` (良い作家には、

生き生きとした想像力が必要だ)。他の選択肢は、①`image`が「画像、イメージ」、②`imitation`が「模倣、まね」、③`immigration`が「(他国からの) 移住」という意味です。

◆補足：`imagination`の動詞形は`imagine`（～を想像する）、形容詞形は`imaginative`（想像力豊かな）です。`It wasn't real; it was just your imagination.`（それは現実ではなかった。君のただの想像だよ）。

19.

解答 ③

【解説】

正解は③「起源、生まれ」です。`origin`は、物事の「始まり、源、原因」や、人の「出自、生まれ、家系」を意味する名詞です。`The exact origin of the custom is unknown.`（その習慣の正確な起源は不明だ）。①「器官」は`organ`、②「オレンジ」は`orange`、④「整理、組織」は`organization`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`origin`は、前の問題の形容詞`original`（元の、最初の）の名詞形の一つです。動詞形は`originate`（～から生じる、始まる）で、`originate from/in ~`の形で使われます。コロケーションとしては`the country of origin`（原産国）などがあります。

20.

解答 ①

【解説】

正解は①「～の初めに」です。`at the beginning of ~`は、「～の冒頭に、～の開始時点で」という意味の熟語です。期間や物事の始まりの時点を指します。`The new system will be introduced at the beginning of next year.`（新しいシステムは来年の初めに導入される）。②「～の代わりに」は`in place of ~`、③「～の終わりに」は`at the end of ~`で対義表現です。④「～の真ん中に」は`in the middle of ~`です。

◆補足：動詞`begin`（始まる）の名詞形`beginning`を使った表現です。`from the beginning`で「最初から」。`in the beginning`は「初めのうちは（後で変わった）」というニュアンスで使われることがあります。

21.

解答 ①

【解説】

正解は①「ところで」です。`by the way`は、「それはそうと」という意味で、会話の途中で、それまでの流れとは関係のない新しい話題を切り出す際に使われる接続詞的な表現です。`The weather is nice today. By the way, have you finished your homework?`（今日はいい天気だね。ところで、宿題

は終わった？)。②「道に沿って」は`along the way`、③「その方法で」は`in that way`、④「途中で」は`on the way`が適切な表現です。

◆補足：`by the way`は、文頭に置かれるのが一般的です。しばしば`BTW`と略して、メールやチャットなどのインフォーマルな書き言葉で使われます。

22.

解答 ②

【解説】

正解は②の`film`で、主な意味が二つあります。一つは「映画」で、特にイギリス英語で`movie`よりも一般的に使われます。もう一つは、写真撮影や映画撮影に使う「フィルム」です。`It is one of the most famous films of the 21st century.`（それは21世紀で最も有名な映画の一つだ）。他の選択肢は、①`firm`が「会社」や形容詞で「堅い」、③`form`が「形、形式」、④`field`が「野原、分野」という意味です。

◆補足：動詞の`film`は「～を撮影する」という意味です。`They are filming a new movie in our town.`（彼らは私たちの町で新しい映画を撮影している）。`the film industry`（映画産業）、`film director`（映画監督）。

23.

解答 ②

【解説】

正解は②「主に、たいてい」です。副詞の`mostly`は、「大部分は、主として」という意味で、全体の中の大部分がそうであることを示します。`The participants were mostly women.`（参加者は主に女性だった）。①「ほとんど」は`almost`、③「最も」は`most`、④「ほとんど～ない」は`hardly`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`mostly`は`mainly`や`largely`とほぼ同じ意味で使えます。`The work is mostly finished.`（その仕事はほとんど終わっている）。

24.

解答 ④

【解説】

正解は④の`raw`で、「生の、加工されていない」という意味の形容詞です。食べ物が調理されていない状態や、物質が自然のままの状態であることを表します。`I don't like the taste of raw onions.`（私は生の玉ねぎの味が好きではない）。他の選択肢は、①`row`が「列」や動詞の「こぐ」、②`law`が「法律」、③`low`が「低い」という意味で、発音が似ているので注意が必要です。

◆補足：コロケーションとしては、`raw data`（未加工のデータ）、`raw fish`（生魚）、`raw vegetables`（生野菜）などがあります。

25.

解答 ②

【解説】

正解は②の`as you know`で、「ご存知のように、ご承知の通り」という意味です。聞き手がすでに知っているはずの情報を、話の前提として持ち出す際に使われる表現です。文頭や文中に挿入されます。

`As you know, our goal is to increase sales by 10 percent.`（ご存知のように、私たちの目標は売上を10パーセント上げることです）。他の選択肢は、①`as you wish`が「お望みのままに」、③`as you like`が「あなたの好きなように」、④`as you see`が「ご覧の通り」という意味です。

◆補足：`as`には「～のように」という意味の接続詞の用法があり、この表現はその一例です。`as far as I know`（私の知る限りでは）も関連表現として重要です。

26.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を分ける、離す」です。動詞の`separate`は、「～を分離する、引き離す」という意味で、くっついているものや、混ざっているものを別々にすることを表します。`It's difficult to separate the truth from the lies.`（嘘から真実を分けるのは難しい）。②「～を準備する」は`prepare`、③「～を繰り返す」は`repeat`、④「～を尊敬する」は`respect`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`separate`は形容詞として「分かれた、別々の」という意味でも使われますが、その場合の発音は「セパレット」となり、動詞の「セパレイト」とは異なるので注意が必要です。`They decided to sleep in separate rooms.`（彼らは別々の部屋で寝ることにした）。名詞形は`separation`（分離）です。

27.

解答 ①

【解説】

正解は①「大統領、社長」です。`president`は、組織や団体の長を指す名詞で、特に国の「大統領」や会社の「社長、会長」を意味します。`She was the first female president of the company.`（彼女はその会社で初の女性社長だった）。②「教授」は`professor`、③「生産者」は`producer`、④「専門家」は`professional`です。

◆補足：大学の「学長」や、クラブの「会長」も`president`と呼びます。大文字で`the President`と書くと、通常はアメリカ合衆国大統領を指します。

28.

解答 ①

【解説】

正解は①「(具体的な) 技術、技巧」です。`technique`は、スポーツ、芸術、あるいは学問などの特定の分野において、何かをうまく行うための具体的な「技術、技巧、手法」を意味する名詞です。`She has developed a unique technique for painting.` (彼女は独特の画法を編み出した)。②「(科学) 技術」は`technology`、③「専門用語」は`terminology`、④「理論」は`theory`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`technique`と`technology`は混同しやすいですが、`technology`が科学技術全般という広い概念を指すのに対し、`technique`はより個別で専門的な「技法」や「コツ」といったニュアンスで使われます。

29.

解答 ③

【解説】

正解は③「似ている、同様の」です。`similar`は形容詞で、完全に同じではないものの、多くの共通点があることを示します。`be similar to ~`の形で「~と似ている」と表現するのが一般的です。`My hobbies are similar to yours.` (私の趣味はあなたのと似ている)。①「単純な」は`simple`、②「深刻な」は`serious`、④「分離した」は`separate`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：名詞形は`similarity` (類似点) です。`There are many similarities between the two languages.` (その二つの言語には多くの類似点がある)。対義語は`different` (異なる) です。

30.

解答 ②

【解説】

正解は②の`judge`で、名詞として「裁判官、審判員」、動詞として「~を判断する、裁く」という二つの意味があります。名詞の例: `The judge found the defendant not guilty.` (裁判官はその被告人に無罪の判決を下した)。動詞の例: `You shouldn't judge people by their appearance.` (人を見た目で判断すべきではない)。他の選択肢は、①`jury`が「陪審員 (団)」、③`justice`が「正義」や (最高裁判所の)「裁判官」、④`jail`が「刑務所」という意味で、いずれも法律・裁判関連の重要な単語です。

◆補足：名詞形は`judgment` (判断、判決) です。`judging from ~`で「~から判断すると」という分詞構文の慣用表現も非常によく使われます。

31.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を楽しませる、もてなす」です。動詞の`entertain`は、会話や音楽、食事などで、客や聴衆を楽しませることを表します。`The magician entertained the audience with amazing tricks.`（その手品師は素晴らしい手品で観客を楽しませた）。①「～に入る」は`enter`、②「～を広げる」は`spread`、③「～に権利を与える」は`entitle`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：名詞形は`entertainment`（娯楽、エンターテインメント）です。`an entertainer`は「芸能人、エンターテイナー」を指します。`entertain an idea`の形で「(アイデア)を心に抱く」という意味で使われることもあります。

32.

解答 ③

【解説】

正解は③「楽器、器具」です。`instrument`は、主に二つの意味を持つ名詞です。一つは、ピアノやギター、バイオリンなどの「楽器」です。もう一つは、科学実験や精密な作業で使われる「器具、道具」です。`He can play several musical instruments.`（彼はいくつかの楽器を演奏できる）。`The dentist used various instruments during the treatment.`（歯医者者は治療中に様々な器具を使った）。①「指示」は`instruction`、②「成分」は`ingredient`、④「投資」は`investment`です。

◆補足：`musical instrument`（楽器）。`tool`も「道具」ですが、`instrument`はより専門的で精密な器具を指すニュアンスがあります。

33.

解答 ③

【解説】

正解は③の`do well`で、「うまくいく、うまくやる、良い成績をとる」という意味です。仕事や試験、スポーツなどで、良い結果を出すことを表します。`She did very well in her final exams.`（彼女は期末試験で大変良い成績を収めた）。他の選択肢は、①`do good`が「善い行いをする、～のためになる」、②`do one's best`が「最善を尽くす」、④`do a favor`が「頼みを聞き入れる」という、それぞれ`do`を使った重要な表現です。

◆補足：`well`は「上手に、良く」という意味の副詞です。対義語は`do badly`や`do poorly`（うまくいかない、成績が悪い）です。

34.

解答 ②

【解説】

正解は②の`be connected with ~`で、「～と関係がある、つながりがある」という意味です。前の問題の`be related to ~`とほぼ同じ意味で使えますが、`be connected with`の方が、より直接的なつながりや接触を指すことがあります。`The two incidents are believed to be connected.`（その二つの事件は関連があると考えられている）。他の選択肢は、①`be concerned with ~`が「～に関心がある、関係する」、③`be content with ~`が「～に満足している」、④`be compared with ~`が「～と比較される」という意味です。

◆補足：動詞`connect`（～をつなぐ）の受け身の形です。名詞形は`connection`（関係、接続）です。`He has many connections in the business world.`（彼はビジネス界に多くのコネがある）。

35.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を形成する、形作る」です。動詞の`form`は、いくつかの要素が集まって、一つの形や集団を作り上げることを表します。`A group of volunteers formed a circle to discuss their plans.`（ボランティアのグループが、計画を話し合うために輪になった）。①「～から」は`from`、②「～のために」は`for`、③「～を耕作する」は`farm`です。これらは発音が似ているので注意しましょう。

◆補足：`form`は名詞として「形、形式」や「(記入) 用紙」という意味でも使われます。`Please fill out this application form.`（この申込用紙にご記入ください）。

36.

解答 ④

【解説】

正解は④の`harmless`で、「無害な、害のない」という意味の形容詞です。`harm`（害）に、`less`（～がない）が付いた形で、文字通り害がないことを表します。`It was just a harmless joke.`（それはただの悪意のない冗談だった）。他の選択肢は、①`homeless`が「家がない」、②`hopeless`が「希望がない、絶望的な」、③`heartless`が「無情な、冷酷な」という意味です。

◆補足：対義語は`harmful`（有害な）です。この`-less`（～がない）と`-ful`（～に満ちた）の対比は、`useful`（役に立つ）と`useless`（役に立たない）、`careful`（注意深い）と`careless`（不注意な）など、多くの単語で見られます。

37.

解答 ③

【解説】

正解は③の`costume`で、「(特定の時代・場所・行事などの) 衣装、服装」を意味します。ハロウィーンの「仮装」や、劇の「衣装」、民族衣装などを指します。`All the actors were in historical costumes.` (俳優たちは皆、歴史的な衣装を着ていた)。他の選択肢は、①`custom`が「習慣、風習」で、つづりが似ているので注意が必要です。②`clothing`は一般的な「衣類」、④`uniform`は「制服」という意味です。

◆補足：`a Halloween costume` (ハロウィーンの仮装)、`a national costume` (民族衣装)。`a costume party`は「仮装パーティー」です。

38.

解答 ④

【解説】

正解は④の`invention`で、「発明、発明品」を意味します。それまで存在しなかった新しい物や方法を創り出すこと、またその創り出されたものを指します。`The invention of the telephone revolutionized communication.` (電話の発明はコミュニケーションに革命をもたらした)。他の選択肢は、①`invitation`が「招待」、②`investment`が「投資」、③`convention`が「大会」や「慣習」という意味です。

◆補足：`invention`は動詞`invent` (～を発明する) の名詞形です。発明家は`inventor`です。`Necessity is the mother of invention.` (必要は発明の母) は有名なことわざです。

39.

解答 ②

【解説】

正解は②「即時の、インスタントの」です。形容詞の`instant`は、「すぐに起こる、即座の」という意味です。時間をおかずに、すぐに利用できたり、反応があったりする様子を表します。`Instant messaging allows us to communicate in real time.` (インスタントメッセージングは、私たちがリアルタイムでコミュニケーションすることを可能にする)。①「遠い」は`distant`、③「内部の」は`internal`、④「重要な」は`important`です。

◆補足：`instant noodles` (インスタントラーメン) や`instant coffee` (インスタントコーヒー) という言葉で馴染み深いですね。`instant`は名詞として「瞬間」という意味もあります。`in an instant`で「一瞬のうちに」。副詞形は`instantly` (すぐに) です。

40.

解答 ④

【解説】

正解は④の`various`で、「様々な、色々な」という意味の形容詞です。多くの異なる種類のものが存在することを示し、後ろには複数形の名詞が続きます。`There are various ways to solve the problem.`
(その問題を解決するには様々な方法がある)。他の選択肢は、①`curious`が「好奇心が強い」、②`serious`が「深刻な、まじめな」、③`previous`が「以前の」という意味です。

◆補足：`various`は名詞`variety`（多様性、種類）の形容詞形です。`a variety of ~`とほぼ同じ意味で使うことができます。`various opinions` = `a variety of opinions`。

41.

解答 ④

【解説】

正解は④の`notice`で、「～に気づく、～だとわかる」という意味の動詞です。目や耳などの五感を使って、何かの存在や変化を認識することを表します。`Did you notice that he was wearing a new watch?`（彼が新しい腕時計をしているのに気づきましたか？）。他の選択肢は、①`note`が「～に注意する、メモする」や名詞で「メモ」、②`nod`が「うなずく」、③`notify`が「(公式に) ～に通知する」という意味です。

◆補足：`realize`も「気づく」ですが、`realize`が頭の中で考えて「悟る、理解する」のに対し、`notice`は五感で「気づく」というニュアンスの違いがあります。名詞としては「通知、掲示、注目」などの意味があります。`a warning notice`（警告の掲示）。

42.

解答 ③

【解説】

正解は③の`name A after B`で、「B（人・物）にちなんでAに名前を付ける」という意味です。尊敬する人や、ゆかりのある場所などの名前を、子供や物などに付けることを表します。`They named their daughter Catherine after her grandmother.`（彼らは娘に、彼女の祖母にちなんでキャサリンと名付けた）。他の選択肢はいずれも不自然な表現で、この意味にはなりません。

◆補足：この表現は`She was named after her aunt.`（彼女はおばにちなんで名付けられた）のように、受け身の形で使われることも非常に多いです。`name A B`（AをBと名付ける）という第5文型の形も覚えておきましょう。

43.

解答 ④

【解説】

正解は④の`tool`で、「道具、工具」を意味します。ハンマーやレンチといった手で使う道具から、ソフトウェアなど、特定の作業を行うために使うもの全般を指します。`The internet is a powerful tool for`

communication.` (インターネットはコミュニケーションのための強力な道具だ)。他の選択肢は、①`rule`が「規則」、②`tour`が「旅行」、③`fool`が「愚か者」という意味です。

◆補足：`instrument`も「道具、器具」ですが、`instrument`はより科学的、専門的で精密な器具を指すニュアンスがあります。`a useful learning tool` (便利な学習ツール)。

44.

解答 ①

【解説】

正解は①の`search`で、名詞として「搜索、調査」、動詞として「(～を求めて) 探す」という二つの意味があります。`The search for the missing person continued for days.` (行方不明者の搜索が何日も続いた)。`He searched his pockets for his keys.` (彼は鍵を求めてポケットの中を探した)。他の選択肢は、②`research`が「(学術) 研究」、③`serve`が「～に仕える」、④`surf`が「サーフィンをする」や「(インターネットを) 見て回る」という意味です。

◆補足：`search for`で「～を探し求める」という形でよく使われます。`look for`も「～を探す」ですが、`search`の方がより徹底的に、注意深く探すニュアンスが強いです。「家宅搜索令状」は`a search warrant`と言います。

45.

解答 ①

【解説】

正解は①「～と全く関係がない」です。`have nothing to do with`は、「～と無関係である」という意味で、二つの事柄の間にいかなる関連性もないことを強く否定する表現です。`My personal life has nothing to do with my job.` (私の私生活は仕事と全く関係がない)。②「～と何か関係がある」は`have something to do with`で、`nothing`が`something`に変わると意味が肯定的になります。③「～を我慢できない」は`can't put up with`、④「～なしで済ませない」は`can't do without`です。

◆補足：`nothing`の代わりに`little` (ほとんどない)、`something` (何か)、`a lot` (たくさん) などを入れて、関係性の度合いを変えることもできます。`The weather has a lot to do with our sales.` (天気は我々の売上と大いに関係がある)。

46.

解答 ②

【解説】

正解は②の`call for`で、「～を必要とする、要求する」という意味です。ある状況が、特定の行動や対応、物事を必要とすることを示します。また、人が何かを公に「要求する」という意味でも使われま

す。`This recipe calls for three eggs.` (このレシピは卵を3つ必要とする)。`The protesters were calling for the president's resignation.` (抗議者たちは大統領の辞任を要求していた)。他の選択肢は、①`call off`が「～を中止する」、③`call on`が「(人)を訪ねる」、④`call up`が「～に電話をかける」という、それぞれ`call`を使った重要な句動詞です。

◆補足：`call for`は`require`や`demand`と意味が似ていますが、より状況がそれを「呼び求めている」というニュアンスがあります。

47.

解答 ④

【解説】

正解は④「～に恥ずかしい思いをさせる」です。動詞の`embarrass`は、「～を困惑させる、～にきまりの悪い思いをさせる」という意味です。人前で失敗させたり、プライベートなことを聞いたりして、相手を居心地の悪い気持ちにさせることを表します。`I didn't want to embarrass him by asking about his low test score.` (彼の低いテストの点数について尋ねて、彼に恥ずかしい思いをさせたくなかった)。①「～を抱きしめる」は`embrace`、②「～を強調する」は`emphasize`、③「～を励ます」は`encourage`です。

◆補足：人が「恥ずかしい」という感情を表すときは、受け身の`be embarrassed`の形を使います。`I was so embarrassed when I called him by the wrong name.` (彼の名前を間違えて呼んでしまい、とても恥ずかしかった)。`embarrassing` (恥ずかしい思いをさせるような) と`embarrassed` (恥ずかしい思いをした) の使い分けが重要です。

48.

解答 ④

【解説】

正解は④「主な、主要な」です。`main`は形容詞で、たくさんあるものの中で、最も重要で中心的なものであることを示します。`The main entrance is on the other side of the building.` (正面玄関は建物の向こう側にあります)。①「男性の」は`male`、②「～を意味する」は動詞の`mean`、③「私の(もの)」は`mine`です。これらは発音が似ているので注意しましょう。

◆補足：`main`は、`principal`、`chief`、`primary`などと意味が似ていますが、最も一般的で広く使われる単語です。コロケーションとしては、`the main character` (主人公)、`the main course` (メインディッシュ)、`the main reason` (主な理由) などがあります。

49.

解答 ②

【解説】

正解は②の`rough`で、形容詞として「(表面が) ざらざらした、粗い」または「大まかな、おおよその」という意味を持ちます。`The skin on his hands was rough from hard work.` (彼の両手の肌は、きつい仕事で荒れていた)。`Can you give me a rough estimate?` (概算をいただけますか?)。他の選択肢は、①`tough`が「困難な、丈夫な」、③`through`が前置詞で「～を通して」、④`though`が接続詞で「～だけれども」という意味で、発音やスペルが似ているので注意が必要です。

◆補足：`rough`の対義語は`smooth` (なめらかな) です。コロケーションとしては`a rough sketch` (下絵、ラフスケッチ)、`a rough sea` (荒れた海)、`a rough draft` (草稿) などがあります。

50.

解答 ①

【解説】

正解は①「一つ、一片」です。`piece`は、全体から切り離された「一個、一枚、一片」を意味する名詞です。特に、`cake`や`paper`, `advice`といった数えられない名詞を数える際の単位として非常に重要です。`a piece of cheese` (チーズ一個)。②「平和」は`peace`で`piece`と同音異義語です。③「ペース」は`pace`、④「部分」は`part`です。`part`が全体を構成する「部品」のようなニュアンスなのに対し、`piece`は切り離された「かけら」というニュアンスが強いです。

◆補足：数えられない名詞を数える例：`a piece of information` (一つの情報)、`a piece of furniture` (一つの家具)、`a piece of news` (一つのニュース)。
